

第20回秋田市地域公共交通協議会 議事要旨

開催の日時 平成28年1月20日(水) 午前9時30分から11時

開催の場所 秋田市役所2階「正庁」

委員の定数 23名

出席委員 22名(うち代理出席6名)

会議内容  
・議事  
(1) 第2次秋田市公共交通政策ビジョン等の素案について  
【資料1、2】  
(2) パブリックコメントの実施方針について

1 開会

2 会長あいさつ

3 議事

会長 議事1「第2次秋田市公共交通政策ビジョン等の素案について【資料1、2】」を、事務局から説明願う。

策定業務受託者 (資料に沿って説明)

会長 質問等はないか。

委員 会議資料を事前送付する際には、要点をまとめた資料と一緒に送付してほしい。当日説明されても理解できない。

事務局 要点をまとめた資料を後日送付する。

委員 パブコメをする際に、第1回と第2回の違い、戦略とビジョンの関係等の要点をより市民にわかりやすくとりまとめるべき。

事務局 パブコメ実施時も要点をまとめた資料を提示する。

委員 事前送付は要約版でもよかったのではないか。  
資料2の67ページにある乗継拠点は具体的にどこを想定しているのか。

事務局	資料2の63ページで示すとおり、乗継拠点として、市民サービスセンターや総合病院、鉄道駅を想定している。
委員	<p>資料2の67ページにある乗り継ぎを行うためには、乗り継ぎの抵抗感をなくすことが重要であり、バス定時性を維持するためにはバス専用レーンの設置や一般車ドライバーのモラル向上等が必要であるので、一緒に考えていきたい。</p> <p>資料2の99ページにあるスクールバス等の活用の検討においては、安全教育と安全確保に係るコストが必要であるが、スクールバスや病院バスがそれを確保できるのか。</p> <p>考え方について確認したい。</p>
事務局	郊外部のバス路線がない部分（公共交通空白地域）について、移動手段の確保のために導入について検討していきたい。
委員	紹介している事例は無料となっているが、公共交通ということであれば法律上の問題もあるので、十分配慮して欲しい。
事務局	あくまでも事例なので、参考にしながら秋田市にあったものを検討していきたい。
会長	対象地域が不明確なので、マイタウン・バス路線もないような部分（公共交通空白地域）に導入するということがよいか。そうでないと、市内全域での実施と誤解されてしまう。
事務局	市内全域ではなく、公共交通空白地域ということが分かるように修正する。
委員	<p>資料1の74ページにある観光レンタサイクルはぜひ、施策として実施してほしいが、まず、「観光レンタサイクル」と「コミュニティサイクル」の各意味合いを教えてほしい。</p> <p>観光客向けであれば観光レンタサイクルと表記した方がよいのではないか。観光レンタサイクルについては、観光施策の中でもあり方を検討していくのか。</p>
事務局	<p>コミュニティサイクルは、観光客だけではなく一般市民の利用も想定しており、観光に特化しているわけではない。</p> <p>「観光レンタサイクル」と「コミュニティサイクル」の両方について考えていきたい。</p>

委員	<p>コミュニティサイクルの定義については承知した。観光用のレンタサイクルというのは、機能を高度化する必要があるため、別途観光施策として検討してくべきではないか。</p> <p>資料1の64ページにある無電柱化、消融雪設備整備について、計画内の事業箇所川反地区が含まれていないが、地域の要望が高く交流人口の増加のためには整備が必要と考えているため、事業対象箇所の設定の考え方を教えてほしい。</p>
委員	<p>費用の面から新たな整備路線の追加は難しいが、川反地区については、中心市街地活性化基本計画の中で考えていきたい。</p>
委員	<p>国交省においては主要施策として無電柱化を進めており、新規の道路整備時は、新たな電柱を設置しない方針としている。</p>
委員	<p>戦略とビジョンに重複する部分やビジョンで詳述する部分があるが、一つにまとめた方が見る人にとっては分かりやすいのではないか。</p>
事務局	<p>ビジョンについては、「地域公共交通網形成計画」として、戦略と別の位置づけであるため、2部構成としている。公表時にはわかりやすい概要版を作成する。</p>
委員	<p>計画として、立派に仕上がったと思う。</p> <p>資料2の92ページに公共交通の維持に関する記述があるが、乗ってもらわないと意味がないので、公共交通の利用促進について基本方針や目標のページでも明記する方がいいのではないか。</p> <p>資料1の72ページにあるクルーズ船の秋田港寄港等で中心市街地を回遊する外国人観光客が増えてきているため多言語表記の記載を検討してはどうか。</p> <p>資料2の98ページにある公共交通空白地域におけるNPO法人等による生活交通の運営については、県も取り組んで行くので、市にも進めていただきたい。</p>
事務局	<p>公共交通は経費をかけながら運行しており、マイタウン・バスだけではなく路線バスについても利用してもらう意識づけが重要と考えているため、基本方針や目標のページへの追記を検討する。</p> <p>外国人対応については、可能な範囲で計画への追記を検討する。</p> <p>全てを行政や事業者で運営していくことは厳しい状況であるため、空白地域における生活交通については、NPO団体等の協力を得られるよう事業を進めていきたい。</p>

委員	<p>今回の計画策定において、資料2の59ページにもあるように多核集約型の都市構造を掲げたことが大きなポイントであり、目標Ⅱ、目標Ⅲはそれに合わせた計画が示されている。</p> <p>しかし、目標Ⅰに関しては、多核集約型の都市構造との関連性がわかりにくい。</p> <p>54ページに示す目指すべき将来都市像の人口の集約する地域等との関連性をわかるようにしたら良いのではないか。</p>
事務局	<p>第1次についても基本的には盛り込まれており、第2次でより多核集約型の都市構造の整備を進めていくものとしている。</p>
委員	<p>目標Ⅰを多核集約型の都市構造との関連性がわかるような表現にしたほうがよい。</p>
事務局	<p>表現の見直しを検討する。</p>
委員	<p>広小路中央通の一方通行を対面通行に戻せないか。</p>
事務局	<p>対面通行にすると片側1車線となるため、容量の問題を検討する必要がある。</p> <p>要望も出ているが、交通管理者、道路管理者を含め総合的に検討していきたい。</p>
委員	<p>中心市街地活性化のイベントが行われており、広小路が全面的に通行止めになるため、バスを運行するためには代替路が必要であるが、現在は十分ではない。</p> <p>都市計画道路川尻広面線（横町）が整備されると、代替路が確保されるため、バス事業者としては助かるので、早期整備をお願いしたい。</p>
事務局	<p>早期整備に向け働きかけていきたい。</p>
委員	<p>資料1の62ページにある事業の実施期間に認識と違うところがある。</p>
事務局	<p>間違いがあれば対応するため、後程詳細を確認させていただきたい。</p>
会長	<p>資料1の83ページにある交通事故対策について、現道拡幅しかないが、他の対策は記載しないのか。</p>
事務局	<p>資料1の第2次戦略では主なハード整備のみ記載している。</p>

		秋田市では別途、交通安全計画を策定しており、その計画内でソフト施策等、その他の事故対策に取り組むこととしている。		
会	長	資料1の第2次戦略の中で、その他の事故対策は交通安全計画に記載されている旨を明記できないか。		
事	務	局	追記を検討する。	
会	長	バスマップの中にはインターネットでの提供も含まれるか。		
事	務	局	ICTを活用した運行状況等の提供についても事業として記載しており、計画に盛り込まれている。	
会	長	資料1の第2次戦略、資料2の第2次ビジョン共に、軽微な修正をして承認をすることでよいか。 修正内容については、会長と事務局で調整することとする。		
委	員	一	同	承認する。
会	長	議事2「パブリックコメントの実施方針について」を、事務局から説明願う。		
事	務	局	(資料に沿って説明)	
会	長	説明内容について承認をすることでよいか。		
委	員	一	同	承認する。
司	会	その他、事務局から何かあるか。		
事	務	局	第21回協議会はバス路線の廃止・変更について2月中旬に行い、第22回協議会を3月上旬に開催し、第2次ビジョン等の最終案をご協議いただく。	
司	会	以上で本日の協議会を終了する。		